

総合型地域スポーツクラブ 【メールマガジン

このメールマガジンはスポーツ振興くじ助成金を受けて配信しています。 スポーツ振興くじについてはこちらから [日本スポーツ振興センターHP] http://www.jpnsport.go.jp/

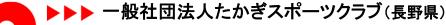
スポーツくじ 🚥





スポーツ振興くじ助成事業

特 集 PDCAサイクルにより運営の改善等を図るクラブ



▶▶▶ 一般社団法人元気ひまわりクラブ三郷(奈良県)

特別企画 SDGsに取り組むクラブと協議会

▶▶ NPO法人見附市総合型地域スポーツクラブ(新潟県) ▶▶ 熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会(熊本県)

Withコロナの中で新たな取り組みを行うクラブ

特定非営利活動法人おおしまスポーツクラブ(富山県)

助成金情報 ▶▶▶ 詳細

お知らせ▶▶▶ 詳細

バックナンバー▶▶▶ 詳細



日本スポーツ協会



PDCAサイクルにより運営の改善等を図るクラブ



-般社団法人たかぎスポーツクラブ



<長野県喬木村>

自立・自律したクラブへと至るためには、クラブ理念を踏まえ、将来的な到達点を明確にした目 標を設定する必要があります。そして、その達成に向けた具体的な取り組み計画を策定した上で、 計画に基づく活動を着実に実行し、その内容および効果を定期的に検証することによって常に改 善を図っていくといったPDCAサイクルによって取り進めることが重要です。

そこで今回は、PDCAサイクルにより運営の改善等を図るクラブの取り組みを紹介します。

★「PDCA」とは、P(Plan「計画」)・D(Do「実行」)・C(Check「検証」)・A(Action「改善」)の頭文字から 名付けられた効率的な業務遂行のサイクルを表した考え方のこと。

「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2018」(平成30年4月1日:公益財団法人日本スポーツ協会)

クラブ概要

豊富なスタッフ・指導者を確保し53クラスを運営

たかぎスポーツクラブは、誰もが、いつからでも自分のレベルや意向に合ったクラスで活動が できることを目指しています。

スポーツ・文化活動の楽しさを伝えること、コミュニケーションを大切にすること、成長に目を向 けること、他者を尊重し自主性を重んじること、学び続けることを指導方針としています。

事務局はクラブマネジャー1名、サブマネジャー1名、常勤スタッフ2名、非常勤スタッフ2名、理 事8名、監事1名で構成されています。外部指導者は20名以上を数え、多種目の指導を行うこと が可能です。現在、53クラス(テニス部門17クラス、リズム・ダンス部門6クラス、健康部門6クラ ス、ヨガ部門2クラスなど計10部門)を運営しています。

クラブの活動や運営に関して意見交換を行える場を設けるために、会員から委員を選出し、 運営委員会を設置しています。運営委員会では、会員の入会状況の報告や、これから企画さ れているイベントの内容、各クラスで出た要望などで意見交換が行われます。



(2) 村の環境、会員の声を踏まえP (計画)とD (実行)

スタート時は施設を生かした教室が不在

総合型地域スポーツクラブを立ち上げた時の喬木村には、テニスコートやグラウンド、体育館 といった誰もが使用できる場所があるにもかかわらず、それを生かすことができる指導者付き のレッスン形式のクラスがありませんでした。

立ち上げ当時の職員がテニスの指導ができたため、子どものテニスクラスの開講からスタートしました。テニスクラスは日曜日の開講だったため、参加率を上げるためには日曜までに子どもたちが宿題を終える必要があると考え、学校の宿題に取り組む「学習クラブ」を始めました。

村の環境等に着目し各種クラスを開講

その後は、高齢者が多い地域であることに着目し、会員数増加を目的に高齢者向けのクラスを開講しました。また、クラブの運営において活用できそうな情報があれば、そこをチャンスと捉え、クラスの開講に結び付けてきました。

会員の選択肢拡大のために、職員が考え提案と行動

このようにクラブ設立当初から、会員のクラスの選択肢を広げるためにはどうすればいいの か職員自らが考え、クラブにとって必要な提案を生み出し行動に移してきたことは、現在のクラ ス運営にも生かされています。

会員の声を吸い上げ実施計画を策定(P)

P(Plan)

- 指導者側・クラブ側が計画をして行うクラスや、会員の方から「○○のクラスをやってみたい」という意見をいただくだけでなく、パンフレットやホームページを見てくださった方から「○○の資格を持っています。このクラブでクラスの新規開講ができますか?」などとお声がけいただいています。
- 会員の方からの持ち込み企画もあり、持ち込みの趣旨などを聞き取りしたあと、「目的」「参加者対象」「内容」「開催日時」「参加費」「発案から初回開催日までのスケジュール」「収支」などを記載した企画書を立てます。企画者が一人で「立案~開講」にならないよう事務局の中でも企画書を確認します。
- こうした申し出を基に事務局側で実施計画(クラスの対象年齢、時間、場所、会費の設定など)を立てます。

- 対象年齢によって開催時間を考慮します。年齢の高い方向けであれば平日の午前中、子ども向けであれば平日の学校・保育園終了後の時間や土日、社会人であれば平日の夜間や土日の昼間など多くの方が参加できる方法を提案します。
- 会費はクラブ内で設定されている基本料金を基に算出します。

D(D_o)

- 事務局立案→理事会での検討を行い、実施可能であれば会員の方向けにホームページや チラシで案内します。
- 実施計画を基にクラスの開講、運営を実施します。

【会員の方の声から誕生し、活動しているクラス】

- 筋トレストレッチサークル
- ソーイング(裁縫)サークル
- フラメンコクラス
- バスケットボールサークル

目的	・今までたかぎスポーツクラブになかった活動を開始することにより、クラブの会員 増につなげたい。 ・会場を確実に確保できるようにスポーツクラブでサークルとして立ち上げる。
参加範囲	・村内外の在住者
内容	・代表者 ●●さん ・材料費等は個人負担なので、クラブからの持ち出しは特になし。 ・筋トレ・ストレッチに参加している会員で裁縫が趣味というかたが、 筋トレ・ストレッチ終了後そのまま活動できるように月2回 第 1.3 水曜日に行う。
開催日	・3月 10日(水)10 時~12 時(3 月は会場の関係で第 2.4 水曜日に開催)
開催場所	・みんなの広場 アスポ会議室
参加費	・1ヶ月 ■■円
募集方法	・ホームページ記載
当日までの動き	3月初め 運営委員会で確認 3月開始(ホームページ記載) 3月10日(水)〜活動開始
目標参加人数	8人
収支	■収入の部 項目 単価 月 数量 (人数) 備考 合計 参加料・ (会員) *** 8 ×××× 収入の部 合計 ××××円

会員のかたの持ち込み企画の 企画書例です。



会員の方の声からスタートしたバス ケットボールサークル。 チラシを作成し、参加者を募集します。 ホームページで紹介したり、クラブ事 務所の案内チラシ置き場で宣伝します。

3

3)検証 (C) で見えてきた新たな課題を改善 (A)

気づき(C)を認識し事務局で改善を協議 大切な意見交換

C(Check)

- 実施されているクラスに関し、会員・指導者から意見をいただくことがあります。これは事務 局側が気づけていない部分・問題点だと認識し、まずは事務局側でどのように改善したらよ いか意見を出し合います。事務局で改善が難しいと判断した場合は、他の指導者や関係機 関に相談をしながら改善を図ります。
- たかぎスポーツクラブでよく起こることが、会員数の偏りです。テニス部門は比較的どのクラ スも登録者数、参加数が多いですが、他の部門は開講していても登録者数がゼロのクラス もあります。このようなクラスに会員を集める場合にはどうしたらいいか、このクラスが存続 していくためには何をしたらいいのか、事務局と運営委員会で意見を出し合います。

実施後に問題点が生じれば、さらなる改善(A)に取り組む

A(Action)

- ◆ 教室に参加している会員・指導者から出された意見に対し、事務局側で決定したことを参加 会員・指導者に伝えます。その内容で実施していただき、また問題点などが発生した場合は さらなる改善を行うことで、会員、指導者、事務局の全体がスポーツ・文化活動に参加でき る体制をつくります。
- 会員数の偏りの改善策としては、毎月参加の定期活動ではなく、時間ができたときにちょっ と参加することが可能な「単発参加の枠」を設けることや、継続できるかどうか分からない方 のために1か月だけ頑張ってみる「1か月お試し入会枠」を設けることで様子を見てもらい、 継続参加ができるかどうか判断してもらうなどの対応をしています。

「単発参加」には現在も数人の方が登録され、2~3年連続で単発参加枠に申し込みいただ いています。

「1か月お試し入会」ですが、こちらに参加していただいた方のほとんどが、正式に入会手続 きをされています。



4 クラブのこれから

生涯スポーツの実現に努力

喬木村や近隣市町村の住民が、運動やスポーツを続けることができ、「健康」「生きがい」 「仲間」を持ち続けられる社会をつくる一員として、たかぎスポーツクラブが存在できるように 努めます。

参加者の満足度向上と文化系クラスの増設を

● 会員数を増やすだけでなく、会員の方・参加する方の満足度を向上させていきたいと考えています。今は運動系のクラスが多いですが、文化系のクラスも増やして参加者の選択肢を増やしていきたいです。

障がい者との共存も視野に活動

● 障がい者スポーツに取り組みます。当クラブでは障がいのある方も受け入れておりますが、 現実的には障がいがある方でクラブ活動に参加している方はごく少人数です。障がいが あっても運動・スポーツを楽しんでいただける、インクルーシブな活動も継続していきます。

幅広い層の誰もが楽しめるクラブを目指す

● 障老若男女、障がいの有無、運動の得意不得意、居住地に関係なく、地域とともに誰もが スポーツ・文化活動に取り組めるクラブを目指します。

(一般社団法人たかぎスポーツクラブ サブマネジャー 小林 典子)

クラブ プロフィール

設立年月日 平成25年4月1日(平成29年4月1日法人登記)

所在地 長野県下伊那郡喬木村6695番地1

運 営 会員数555名(令和3年3月現在)、予算規模140万円(令和3年度)

寺 徴・・多様性 様々な世代の方が、色々な活動を、それぞれの目的・志向で楽しんでいます。

・主体性 会員が主体となって運営・活動しています。

・流動性 多くの活動があるので1つの種目をやめてもクラブ内で新しい種目へ移る ことができ、新しいことにどんどんチャレンジできます。

連絡先 〒395-1100 長野県下伊那郡喬木村6695番地1

TEL 0265-33-5570 FAX 0265-33-5330

URL https://takagi-sportsclub.jimdofree.com/

E-Mail takagi.sportsclub@gmail.com



特集

PDCAサイクルにより運営の改善等を図るクラブ

一般社団法人元気ひまわりクラブ三郷 <奈良県三郷町>

自立・自律したクラブへと至るためには、クラブ理念を踏まえ、将来的な到達点を明確にした目標を設定する必要があります。そして、その達成に向けた具体的な取り組み計画を策定した上で、計画に基づく活動を着実に実行し、その内容および効果を定期的に検証することによって常に改善を図っていくといったPDCAサイクルによって取り進めることが重要です。

そこで今回は、PDCAサイクルにより運営の改善等を図るクラブの取り組みを紹介します。

★「PDCA」とは、P(Plan「計画」)・D(Do「実行」)・C(Check「検証」)・A(Action「改善」)の頭文字から 名付けられた効率的な業務遂行のサイクルを表した考え方のこと。

「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2018」(平成30年4月1日:公益財団法人日本スポーツ協会)

1 クラブ概要

奈良県生駒郡三郷町の総合型地域スポーツクラブ「一般社団法人元気ひまわりクラブ三郷」は、会員数が290人で、子ども向け教室から大人・シニア向け教室まで24教室を開催しています。事務局は行政の協力を得て、町内の文化センター事務局の一角を利用。事務局スタッフは3名です。

創設の経緯=保護者のニーズの変化からクラブ設立へ

奈良県から「各市町村に総合型地域スポーツクラブを設立すること」との号令の下、行政主導で設立準備委員会を設立し、地域のサッカーチームや野球チームの代表が集い、設立の準備を進めました。

また、共働き家庭が増えるなど保護者のニーズの変化により、「少年団のチームに入らずに習い事としてスポーツをさせたい」「仕事のためチームへの手伝いができない」「子どもがレベルについていけない」などの意見も増えました。こうした状況もあり、少年団のチーム以外でのスポーツ活動の場が必要と考え、総合型地域スポーツクラブの設立に至りました。

また大人・シニア世代には、継続的に、一人でも初心者でも参加できるスポーツ活動の場を つくり、健康増進に努めていきたいと考えました。



活動内容=24教室を展開 サッカー教室とヨガ教室が人気

現在、子ども教室(サッカー、テニス、ティーボールなど)、大人・シニア教室(ヨガ、太極拳、エアロビクス、ストレッチ、健康体操など)を24教室開催しており、子ども118名、大人64名、シニア108名が参加しております。

子どもに人気があるのはサッカー教室で4教室を開催、大人・シニアで人気なのはヨガ教室で、 現在5教室を開催しています。

地域の皆様に、運動・スポーツを始めるキッカケをつくり、「いつでも・だれでも・いつまでも」スポーツを続ける環境づくりに努めています。





2 他クラブと情報交換できる連絡協議会の場が契機 - PDCA

当クラブでPDCAサイクルを行うきっかけとなったのは、数年前から行われるようになった近隣のクラブのクラブマネジャーが集まって情報交換を行う「たつたがわSC連絡協議会」の存在でした。近隣のクラブの取り組みや、問題などをシェアし合うことで気づきを得られることが多くなりました。たつたがわSC連絡協議会の会議があった後、当クラブのスタッフでミーティングを行い、他クラブの取組の中で当クラブでも生かせることがないか考えるようになりました。

主に、新教室の計画時に内容・参加費・時間・経費・対象などについて事務局案を作成し、運営委員会に諮り、会議をした上で許可が下りれば実行に移し、随時改善点がないか検討しクラブ運営を図っています。

P(Plan): 開局時間の変更→事務局スタッフ減

IT活用→①利用者に影響を出さない、②事務局スタッフの業務効率化

D(Do): 電子決済サービスの導入

近隣クラブのIT活用を参考に導入した電子決済

最近の事務局内で課題となったのが、「スタッフの一人が産休に入ることが決まり、かといってスタッフを増やす財源はクラブにない状況で、どのように事務局を円滑に運営するか」ということでした。

事務局と運営委員会で相談し、事務局スタッフが減っても対応できるように、事務局の開局時間を2時間短縮し、「9時~17時」を「9時~15時」に変更しました。これにより15時までに更新の手続き等に来られない会員様のために、対面以外でのお支払い方法として電子決済サービスのLINEPAYを導入することとなりました。

この方法は、実際に事務局を置かずに会員とのやり取りを行っている近隣のクラブが、インターネットを通して体験や入会の申し込みを受けていることなどを参考にしました。

3 対面以外の電子決済を採用 事務局業務が簡素に

C(Check): ①活用数の伸び悩み→利用者からの声を受ける

A(Action): ①他の決済サービスを検討・導入 ②エアレジの導入

まずはLINEPAYを導入したのですが、思ったよりも利用していただける会員様は多くなく、 思ったほど事務局の仕事を簡素化することにはつながりませんでした。

会員様から「他の電子決済サービス(PayPay)はないの?」と聞かれることが多くなったので、その後PayPayも導入し、併せて振り込みでの支払い方法も可能とし、どちらも会員様から喜びの声をたくさんいただいております。これにより対面以外での支払い利用は、LINEPAYだけを導入していた時の3~4倍になりました。

受付業務も見直し「エアレジ」を導入

また、これを機に支払い方法だけでなく、受付業務自体も見直し、さらなる事務局の仕事効率 アップのために「エアレジ」を導入しました。

※エアレジとは

タブレットレジは従来のレジスターとは違い、iPadなどのタブレットにアプリケーションとしてレジスター機能をダウンロードし、そのままレジにしてしまう形式のレジスターです。ポピュラーなタブレットレジの多くはPOSシステムが搭載されており、売り上げ管理などを自動で行うことができます。

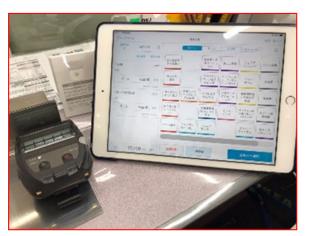
https://orange-operation.jp/pos/16718.html

エアレジの活用は、「売上管理のミスを防止」「対面対応時間短縮」「データの入力業務の簡略 化」につながり、事務局の仕事の時短に成功しています。

8



LINEPAY、PayPayのQRコード、読み込めば簡単に 支払い可能。自宅からも画像スキャンで支払い可能に。



iPadを使用してエアレジを導入

4

)仕事効率改善→会員との関わり希薄化が心配

連絡手段でメール・LINEの活用も検討

今後は、事務局の仕事効率アップと会員様にとってプラスとなるようなクラブ運営を目指していきたいと考えています。具体的には、連絡手段としてメールやLINEも活用すること、支払方法に口座振替も導入することを検討しています。これにより、教室が休みとなった場合や、災害等で緊急のお知らせがある場合に、会員様お一人お一人への電話連絡だと不在時の対応などで時間がかかってしまうというマイナス面が解消されます。

コロナ対策に十分配慮しイベント復活を

現在はコロナウイルスの影響もありイベントの実施ができていないので、今後状況が落ち着けば、地域の皆様が身体を動かすきっかけをつくれるような楽しいイベントを実施したいと考えています。その際は、これまでの教室やイベント運営時に得た知識を加えて、コロナウイルス対策を十分に検討するとともに、運営委員会でも協議を重ね、より良いイベントとなるよう努めてまいります。

あまりに仕事効率ばかりを求めるばかり「事務局と会員様の関りが無くなり、関係が希薄になっていくのではないか」という意見もあり、地域コミュニティとしての役割も担いながら、どのように仕事効率を上げられるかが課題となっておりますが、会員様の意見も聞きながら検証し、常に向上心を持ってクラブのさらなる改善を図りたいと思います。

(一般社団法人元気ひまわりクラブ三郷 事務局員・広報 狩野 文哉)

クラブ プロフィール

設立年月日 平成26年9月25日(平成31年4月1日法人登記)

所在地 奈良県生駒郡三郷町勢野西1-2-2

運 営 会員数290名(令和3年4月現在)、予算規模1,400万円(令和3年度)

特 徴 幼児からシニアまで幅広い年齢層の人たちを対象とし、「いつでも・だれでも・いつ

までも」気軽に参加できるクラブとして活動。運動が苦手な方や初心者の方でも

気軽にスポーツ・運動を始めるキッカケとなれるクラブを目指しています。

連絡先 〒636-0812 奈良県生駒郡三郷町勢野西1-2-2

TEL 0745-73-2223 FAX 0745-73-2223

URL https://ghcsango.jimdofree.com

E-Mail ghcsango35@yahoo.co.jp



特別企画

SDGsに取り組むクラブと協議会



NPO法人見附市総合型地域スポーツクラブ <新潟県見附市>



現在、日本でも話題の一つとなっているのが「持続可能な開発目標(SDGs)」です。企業や個 人でもすでに取り組みを行っている人は多いのではないでしょうか。スポーツがSDGsに貢献で きることは多く、国では地域や自治体の取り組みに大きな期待が寄せられています。

今回は、先行事例となるよう、総合型クラブとSDGsの関係について考え、取り組みを行うクラ ブをご紹介いたします。

★SDGs (Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致 で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可 能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地域上 の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取 り組むユニバーサル(普遍的)なものである。

(外務省HP: JAPAN SDGs Action Platformより抜粋)



クラブ概要

「健幸」を願い、子ども向け18教室、大人向け22教室を展開

当クラブは新潟県のへその辺りにあります見附市で活動しています。平成20年3月に設立し、 平成24年12月からはNPO法人になりました。現在、541名の教室会員の皆さんが日々さまざま な運動・スポーツに取り組んでおられます。

子ども向け18教室、大人向け22教室を開催しております。運動あそびやランニング教室、ヨガ や健康体操、エアロビクスなど多種多様な教室を、新型コロナウイルス感染症対策を講じなが ら行っています。

事務局はクラブマネジャー1名、アシスタントマネジャー1名で実務にあたっております。日々、 見附市民の健幸※を願いながら、クラブ運営に努めています。

※健幸(けんこう)=体の健康だけではなく、人々が生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れる状態





中学生、硬式野球教室



高齢者向け、元気アップ教室

2

2 市と共にSDGsについて考える

見附市はSDGs17目標のうち9目標に取り組む

見附市では、SDGsの17の目標(下記参照)のうち、その中の9つの目標(3・4・7・8・11・12・13・15・17)に取り組んでいます。これら9つの目標は、今までのまちづくりの中で日常的に実践されているものですが、更に充実するよう努めていきます。見附市のSDGsの取り組みの根幹は「スマートウエルネスみつけ」の中の「歩いて暮らすまちづくり」です。当クラブとして、「いつまでも元気に歩ける体づくり」を意識しながら多くの教室を開催しており、運動・スポーツの観点から持続可能な世界の実現に参画できることはないかと考え、同取り組みに賛同しております。

●見附市のSDGs(エスディージーズ) (同市ホームページから)

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう

- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
 - 17 パートナーシップで目標を達成しよう

根幹は「歩いて暮らすまちづくり」

当クラブとして具体的には、会員さんが教室に参加される際に、自宅から歩いてその教室の会場に行けるような範囲に会場を設定しています。市内体育施設をはじめ、公民館や文化ホールなど、会員さんの身近にある施設を使わせてもらい、教室を開催しています。地方においては、交通の足は車に頼りがちです。歩いて参加できる教室を意識し、企画開催をしています。

また毎年秋に実施されている「みつけウォーキングまつり」(主催:見附市、NPO法人見附市スポーツ協会)の運営協力をしており、当クラブの会員さんも多く参加しています。

歩いての教室参加に好反響 市からは感謝の声

教室に関しては、天候の良い日など徐々にではありますが、歩いて教室に参加される方が増えてきています。参加者の皆さんからも「家を出た時から教室が始まっていると思い、意識的に歩いています。教室中も講師の先生が体を整えるコンディショニングを教えてくださるので、疲労も軽減できているのではないかと思います。元気で長生きしていたいので、頑張っています」などの声をもらっています。

また、秋のウォーキングまつりに教室単位で参加されているところもあり、その教室に参加されている88歳の男性は「毎年、一番短い距離(約3km)をしっかり元気よく歩けるようにしたいと思っています。そのために、日々の教室で運動を頑張っていきたいと考えています」と感想を語ってくれました。

また、見附市からは、「ウォーキングまつりを通じて、市民全体に歩くことの大切さを感じてもらえる良い機会となって、とても助かっています」と言ってもらっています。

SDGsを通じて見附市としては、次の3つが特に大切であると考えられています。

- ●持続可能性の取り組みは、無理をせず日常的に取り組めるものとする
- ●地域を共に良くしたいと思う、市民同士の協調性を大切にする
- ●分野の垣根を超え、総がかりでの取り組みとする

当クラブとしても、SDGsの取り組みを牽引する大学機関(全世界で17大学のみ任命)として、 国連から日本で唯一の認定を受けている長岡技術科学大学との連携も検討しながら、様々な ことに挑戦することで、現在だけでなく未来も見つめて、全世代で持続可能な世界・見附をつく れるように取り組んでいきたいと思います。

長岡技術科学大学との連携については、大学施設を活用したイベント開催(ウォーキングなど)や小学生を対象にしたSDGs教育授業(運動・健康を絡めたもの)などを検討していますが、 大学との協議はこれからとなります。



ウォーキングまつり コンディショニング・ストレッチの指導



ウォーキングまつり HIPHOPダンス教室の発表

3

より良い環境づくりに向け「3重点課題」に取り組む

見附市民の皆さんに、より気軽に、より楽しく運動・スポーツに親しんでもらえる環境をつくるために、令和3年7月より、NPO法人見附市スポーツ協会と合併し新たなスタートを切ります。

子どもから大人・高齢者までの幅広い層の人たちが運動・スポーツにより親しんでもらえるように取り組んでいきたいと思います。その中で様々な課題がありますが、次の3点を重点課題として取り組んでいきたいと考えます。

- 1. 学校部活動の課題
- 2. 幼少期の運動量の確保
- 3. 高齢期における、運動・スポーツによる健康づくりや生きがいづくり

(NPO法人見附市総合型地域スポーツクラブ クラブマネジャー 関 林太郎)

クラブプロフィール

設立年月日 平成20年3月23日(平成24年12月3日法人登記)

所在地 新潟県見附市月見台1-9-1 見附市総合体育館内

運 営 会員数541名(令和3年3月現在)・予算規模2,160万円(令和2年度)

特 微 〇子どもから高齢者の教室まで多種多様な教室を40以上も開催しています

○運動・スポーツ教室開催事業を中心に活動しています

○新潟県のへその部分にある「見附市」で活動しています

連絡先 〒954-0034 新潟県見附市月見台1-9-1 見附市総合体育館内

TEL 0258-62-3661 FAX 0258-62-1000

URL http://www.mitsuke-sports.com/mitsuke sports/

E-Mail <u>mikespo2008@gmail.com</u>



特別企画

SDGsに取り組むクラブと協議会



現在、日本でも話題の一つとなっているのが「持続可能な開発目標(SDGs)」です。企業や個 人でもすでに取り組みを行っている人は多いのではないでしょうか。スポーツがSDGsに貢献で きることは多く、国では地域や自治体の取り組みに大きな期待が寄せられています。

今回は、先行事例となるよう、総合型クラブとSDGsの関係について考え、取り組みを行う都道 府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会をご紹介いたします。

★SDGs(Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致 で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可 能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地域上 の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取 り組むユニバーサル(普遍的)なものである。

(外務省HP: JAPAN SDGs Action Platformより抜粋)

協議会概要

58クラブが加入し、交流大会・研修会を毎年実施

熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会(呼称:SCS火の国クラブネット)は、クラブ同士 が"知恵"や"汗"を出し合い、互いに手を取り合い、切磋琢磨し、熊本県における総合型地域ス ポーツクラブの更なる活性化を図ることを目的として、平成22年2月11日に発足しました。

本協議会には現在、58クラブが加入をしています(令和3年5月現在)。クラブは、北・中央・南 の各ブロックに所属しています。SCS火の国クラブネットは、各ブロックおよび県スポーツ協会か ら理事を選出し、各クラブからの意見や要望を反映し、各クラブが主体となって運営をしていま す。

例年、県内のクラブが一堂に会して、交流を深める県内クラブ交流大会やクラブ運営に関す る研修会を行っています。また、各ブロックにおいても交流会や会議を開催しています。



2

研修会でSDGsをテーマに勉強 初の試み一令和元年度

本協議会では、研修会を通じて、総合型クラブの運営に関する知識やノウハウを身につけ、各クラブの運営に役立てていただくことや、各クラブの情報を交換・共有することを目的として研修会を実施しています。研修会の開催については、毎年輪番で担当ブロックを回しており、令和元年度は北ブロックが担当でした。

北ブロックで会議をされる中で、SDGsの話題が挙がり、研修会のテーマとして設定することとなりました。特にSDGsが「目標とターゲットがすべての国、すべての人々、およびすべての部分で満たされるよう、誰一人取り残さない」ということを原則としていることを知り、我々総合型クラブは「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツや文化活動を親しめる環境づくりや、地域課題の解決に寄与すること」を目的としているため、SDGsの理念に精通するものがあるのではないかという意見にまとまりました。

とはいえ、SDGs自体をまだまだ知らない人も多いだろうということで、既に総合型クラブ関係者でSDGsの研修を受けていた方を通じて、本県の「SDGs de 地方創生」公認ファシリテーター熊野たまみ氏、松田博氏をご紹介いただき、研修会の講師を務めていただきました。

研修会に専門家を招きSDGs講義

講義の前段では、ファシリテーターの熊野氏にSDGsの概要を説明いただき、風水害を含めた環境問題や生活の変化等を含め、SDGsの目的を示されました。SDGsとスポーツの関係については、SDGsへの取り組みがスポーツでも期待されており、健康促進やフェアに競い合う精神や平和、ジェンダー等の理解促進につながるとのことでした。

SDGsのゴールとスポーツも大きな関わりがあり、オリンピック・パラリンピックでも取り上げられています。具体例として「みんなのメダルプロジェクト」では、携帯電話等を集めてメダルを作るなどの取り組みがあるとのことでした。

なお、地域のスポーツ現場でもできる取り組みとして、ペットボトルを持ち込まないことや、ご みの分別を細かく行うことなど、導入可能な内容も織り込まれてお話されました。

好評だったゲーム形式の研修

また、途中からカードを使ったゲーム形式で研修が進められたこともあり、参加者同士で話す時間も多かったことから、大変理解を深めることができたようです。参加者からは、「ゲーム形式にすると盛り上がった。他の方の協力もあり、地域の一人ひとりとのつながりが大切だと改めて感じた」「クラブ運営に生かしていきたいと思う」といった声が聞かれました。

【ゲームの概要】

「SDGs de 地方創生」では、参加者をゲーム内で行政担当と市民に分け、まちの状態を「人口」「経済」「環境」「暮らし」の指標で表し、人口減少を防いでより良いまちをつくることをゴールとします。カードゲームで行うため、各自楽しみながら課題解決のための手立てを考えることができます。

※詳細はホームページ参照 ⇒ 「SDGs de 地方創生」 https://sdgslocal.jp/



(左から講師2人とアシスタント1人)」 松田氏、熊野氏、神田氏



ゲームで使った「地域の状況メーター」



参加者の様子



参加者の様子



ゲームで使った「カード」



振り返りの様子

スポーツ現場でもSDGsに取り組む契機に

今回SDGsを初めて取り上げての研修でしたので、SDGsを知らない参加者が多かったようですが、身近な課題として、スポーツ現場でも取り組めることは何かを考えることができました。

今後、総合型地域スポーツクラブが関わる事業は、このSDGsの観点を含めて運営に生かしていただきたいと感じています。実際に、あるクラブではイベント開催時に資料をビニール袋に入れて配っていたのを、不要になったチラシを編み込んで作った手作りの紙袋に変更されるなど、行動に移しているところもあります。

当連絡協議会ではSDGsに向け具体的には議論されていないので、今のところは何とも言えないのが現状ですが、事務局としては、SDGsの取り組み例にもあったように、スポーツ交流イベントや各種事業をする際はペットボトルを使わないことやごみの分別等が取り組めるのではないかと思っております。

SDGsの目指す「誰一人取り残さない未来」に向けて、まずは身の回りで取り組めることは何かを考えるとともに、総合型クラブとして取り組めることは何かを、本協議会としても引き続き情報発信していきたいと感じています。





美里町にある「元気・夢クラブ」で手作りの紙袋を作成する様子



総合型クラブの原点を忘れず地域課題解決を

コロナと豪雨災害で恒例事業が頓挫 オンラインセミナーで対処

本協議会では、例年、県内クラブ交流大会や研修会を本協議会加入クラブが一堂に会して実施してきましたが、昨年度は新型コロナウイルス感染症や令和2年熊本豪雨災害の影響により、 予定した形での事業実施はかないませんでした。

しかしながら、各地域、そして総合型クラブの方々のためになることを何かできないかと、オンラインを活用したセミナーの開催や、被災地の復旧・復興支援事業を実施してきました。

熊本地震で得た教訓は、ネットワークの重要性

平成28年に発生した熊本地震発生後、いかに日頃からのネットワークが重要かということを 思い知らされた日々でしたので、今後も総合型クラブの方々がいつでも相談や情報交換ができ る仕組みをつくり、地域間・クラブ間のネットワーク構築に寄与できればと思います。

そのためにも、今一度総合型クラブの原点である「スポーツ振興」「地域づくり」を考え、地域 課題の解決に取り組む組織として、自クラブを見つめ直すような機会を設定していきたいと思い ます。

(熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 事務局 太田黒 尚子)

協議会プロフィール

設立年月日 平成22年2月11日

所在地 熊本県熊本市東区平山町2776県民総合運動公園陸上競技場内

(公益財団法人熊本県スポーツ協会内)

運 営 加入クラブ数58クラブ(令和3年5月現在)

特 徴 SCS火の国クラブネットは、各ブロックおよび県スポーツ協会から理事を選出し、

クラブの意見や要望を反映し、クラブが主体となって運営をしています。

県内のクラブが一堂に会して、交流を深める県内クラブ交流大会やクラブ運営に

関する研修会を行っています。また、各ブロックで交流会や会議を行っています。

連絡先 〒861-8012 熊本県熊本市東区平山町2776

TEL 096-388-1581 FAX 096-388-1584

URL http://kumamoto-sports.or.jp/scs/

E-Mail main@kumamoto-sports.or.jp



Withコロナの中で新たな取り組みを行うクラブ

特定非営利活動法人おおしまスポーツクラブ



<富山県射水市>

世界中で甚大な被害をもたらしている新型コロナウイルス感染症による影響は計り知れませ ん。クラブが受ける影響も大きく、各クラブで試行錯誤している状況にあります。少しでも全国の クラブの力となるよう、新型コロナウイルス感染症対策に取り組みながら、新たな取り組みを行 うクラブについてご紹介いたします。

クラブ概要

年間多数のイベントを開催、「イベントのおおしま」と称される

NPO法人おおしまスポーツクラブは、富山県のほぼ中央に位置する射水市で活動しています。 平成16年から公認クラブマネジャー資格を有する7名が中心となり、2年の歳月をかけて、平成 18年2月にクラブを設立しました。

当クラブの特徴は ①教室、②イベント、③トレーニング施設「まびいあ」を3本柱とし、プログラ ムの充実を図るべく、企画・運営に力を入れています。中でもイベントは、登山、キャンプ、ス キーなど年間20本以上のイベントを企画・開催しており、当クラブを知っていただくきっかけにも なっています。

コロナ禍で昨春2か月活動休止、6月に再開し徐々に活気も

会員数350名でスタートした当クラブも、平成31年度には約1500名の方々にご利用いただける クラブに成長しました。より多くの方々に利用していただくべく新しい企画を計画していた矢先に、 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、昨年4~5月の2か月間、やむなく活動休止となりまし た。不安な日々を過ごしましたが、幸い他県に比べると感染者の人数も少なく、感染症対策を 万全に講じながら6月には活動を再開し、徐々に活気を取り戻しています。





トランポリン教室



トレーニング施設「まびいあ」

2

withコロナでの活動を実現するために

徹底した換気と消毒 教室の人数制限も

当クラブの感染症対策は、国、県、市および各競技団体のガイドラインに沿って行っており、 徹底した換気に力を入れています。冬場は寒いとご意見をいただくこともありましたが、常に窓 や扉を開け、1時間に1回、10分間大きく開放しながら換気を行い続けました。さらに、徹底した 消毒を会員の方にもご協力いただくとともに、利用した機器の拭き取りに使うタオルの小まめな 取り換えなどに努めました。参加者の多い教室は人数制限をするなどの対応も行ってきました。

射水市が支援事業補助金を創設 コロナ禍でも大アリーナでイベント開催

射水市では、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い指定管理者施設の利用者が急激に落ち込んでいる状況を踏まえ、施設の利用促進につなげようとアフターコロナ、ウィズコロナを見据えた「射水市指定管理者制度導入施設アフターコロナ対策支援事業補助金」が創設されました。

当クラブでは、同補助金を活用し何かできることをしようと、「クリスマスフィットネスフェスティバル」を企画・開催しました。イベントの主旨や内容を広く広報したおかげで、当日は多くの方に来館いただき、このコロナ渦の中、十分な成果が出た事業となりました。

なお、参加者には入館時に検温、健康チェックシート(氏名、連絡先、体調の自己チェック)を レッスンごとに記入していただくなどのコロナ対策を取りました。

今回補助金で購入させていただいた備品などを活用し、来館率向上や新規会員獲得のために、今後も定期的に開催していきたいと考えています。

【実施内容】

新型コロナウイルス感染症防止対策を講じた上で、富山県内有名インストラクターによる特別 レッスンの実施

- ※ 通常は収容人数30~40名程度のスタジオでレッスンを行っていますが、特別レッスンとして大アリーナ(収容人数700名程度)で、昼の部3本、夕方の部3本、一日を通して計6本実施。ソーシャルディスタンスを十分に確保し、安心して運動できるよう配慮しました。
- ※ また、外部の人気インストラクター3名を招くとともに、県内の主要体育館にポスターやチラシで広報 活動を行いました。



クリスマスフィットネスフェスティバルのチラシ 最下部には各種ガイドラインに沿って 感染拡大防止を行っている旨を記載



クリスマスフィットネスフェスティバルの様子



コロナ禍での活動で生まれた効果と反響

認知度と施設利用率の向上を狙って企画→参加者に大好評

会員の皆さんに、安心して運動を楽しんでいただくことはもちろん、当クラブの認知度を高め、 会員の獲得と、施設利用者の増加を狙って企画しました。この時期、民間を含めほとんどのスポーツ施設が手探りで施設の再開をしている中、550名を超える参加者に楽しんでいただき、当初の目的を十分に達成することができました。参加された方々からは、「安心して参加できた」、「思い切り身体を動かすことができ、とても楽しかった」、「これからも開催してほしい」など、たくさんの「嬉しい声」を聞くことができました。

今後は定期的な運動・イベント機会を継続して提案を

コロナ対策に関しては、いままで同様、徹底した換気・消毒を行い、万全な感染症対策を講じながら、体力や免疫力を高めることの重要性を訴え、定期的な運動やイベントの機会を継続して提案していきたいと思います。

【今後の具体的なイベント内容】

6/13(日) 上高地ゆっくりハイキング/焼岳登山

6/20(日) 初夏のヨガフェス

7/25(日) 夏休み立山登山

8/7(土)~8日(日) 憧れの富士登山

8/7(土)~9日(月祝) 夏休みアドベンチャーキャンプ2021

12/27(月)~28日(火) 冬休みスノーキャンプ2021 他



2019年に実施した夏休みアドベンチャーキャンプ

4

4 新たな取り組みに挑戦、クラブ存続に尽力

射水市の行財政改革の取り組みの中で、「主要体育館の在り方の検討」が話し合われています。当クラブが指定管理を受けている体育館もその中の1つに含まれており、今後生き残りのために、コロナ禍であってもこれまで以上の利用者の増加や、新たな取り組みに挑戦していかなくてはいけません。スポーツの振興やスポーツを通じた地域づくりなどに向けた多様な取り組みを展開し、地域になくてはならない存在として、役割を果たしていきたいと思っています。

地域の受け皿として柔軟に対応したい一学校部活動

また、スポーツ庁の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」では、令和5年度以降の休日 部活動が段階的に地域移行される方針が示されました。地域の受け皿として、私たちの「総合 型地域スポーツクラブ」が期待されており、課題は山積みではありますが、時代の変化にも柔 軟に対応できる、そんなクラブでありたいと考えています。

(NPO法人おおしまスポーツクラブ 副理事長 中澤 朗子)

クラブプロフィール

設立年月日 平成18年12月26日(平成19年4月2日法人登記)

所在地 富山県射水市

運 営 会員数850名(令和3年5月現在)

特 微 ① 教室(幼児対象のダンスやトランポリンから高齢者対象のおわら踊りや弓道教室 など45本)

- ② イベント(大人から子どもまで楽しめる、登山、スキー、キャンプなど20本)
- ③ トレーニング施設「まびいあ」(トレッドミルやエアロバイク、スミスマシンやピナクルトレーナーなど、最新機器が40台。自主運営のジム)

連絡先 〒939-0284 射水市新開発300ヨシダ大島体育館内

TEL 0766-52-7719 FAX 0766-52-7719

URL www.oshima-sc.jp

E-Mail ooshima-sc@po9.canet.ne.jp





助成金情報

エネルギア文化・スポーツ財団令和3年度 後期募集助成金情報

「実施団体」(公財)エネルギア文化・スポーツ財団

中国地域に所在する文化、スポーツに関する団体が主催し、中国地域在住者が過半数を占 める活動で、中国地域内において行う活動を対象とします。

「申込期間]令和3年5月1日(土)から6月20日(日)(当日消印有効) 申込書をダウンロードし必要事項を記入のうえ、簡易書留にて郵送してください。

http://www.gr.energia.co.jp/bunspo/application/cat1.html

2021年度 ヨネックススポーツ振興財団助成事業(後期)

[実施団体] (公財)ヨネックススポーツ振興財団

青少年スポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励し、または自ら行い、かつその活 動を3年以上継続して実施し、交付対象の要件を満たしている団体を助成します。

[申込期間] 令和3年6月21日(月) ※当日消印有効

交付申請書をダウンロードし必要事項を記入のうえ、対象団体であることを証明する書類を 添付して、郵送で申請してください。

http://www.yonexsports-f.or.jp/joseikin.html

令和3年度 子どもゆめ基金助成金〈二次募集〉

[実施団体] (独)国立青少年教育振興機構

子どもの健全な育成を図ることを目的に、令和3年10月1日(金)から令和4年3月31日(木) までの間に行われる子どもの各種体験活動に対する助成を行います。

[申込期間] 郵送による申請/令和3年5月1日(土)から6月15日(火)(当日有効)

電子申請/令和3年5月1日(土)から6月29日(火) 17時締切

郵送や宅配便の場合は、申請書をダウンロードし必要事項を記入のうえ、簡易書留など配達 記録の残るものを利用し郵送ください。また、封筒には「申請書在中」と記入してください。

https://vumekikin.nive.go.ip/ivosei/index.html





お知らせ

日本スポーツ協会情報

熱中症対策について

これからの季節、屋内外の運動で特に気をつけたいのが熱中症です。 スポーツによる熱中症は適切な予防をすれば防ぐことができます。 熱中症事故をなくすために、しっかりと対策に取り組みましょう。

熱中症予防運動指針やスポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック、啓発動画等についてはこちらhttps://www.japan-sports.or.jp/medicine/heatstroke/tabid523.html

「発育期のスポーツ活動ガイド」作成

日本スポーツ協会では、諸外国のアスリート育成モデルや、国内の少年団や中央競技団体の育成指針を踏まえ、「発育期のスポーツ活動ガイド」を作成しました。

発育期の子どもが健全にスポーツ活動を実施することで、生涯にわたってスポーツを楽しめるようになることを目指しています。

クラブとしての育成指針を作成する際や、スポーツ指導の現場にてご活用ください。

「発育期のスポーツ活動ガイド」のダウンロードはこちら https://www.japan-sports.or.jp/medicine/tabid1319.html

ワールドマスターズゲームズ情報

「ワールドマスターズゲームズ2021関西 」大会参加者募集!

概ね30歳以上なら誰でも参加できる世界最大級のスポーツ祭「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」が、2022年5月に日本初開催となります。大会の1年延期決定を経て、2021年5月13日からエントリー再始動!競技参加はもちろん、大会ボランティアも募集しています。

関西でスポーツを一緒に楽しみませんか?

- ●開催期間 2022年5月13日(金)~5月29日(日)
- ●競技種目 公式競技 35競技59種目
- ●開催場所 関西各地域
- 大会公式ホームページ https://wmg2021.jp/

エントリー方法 大会エントリーはこちら https://wmg2021.jp/games/entry.html

ボランティア申込はこちら https://wmg2021.jp/games/volunteer.html

エントリー締切2022年2月28日(月)(大会ボランティアは2021年10月31日(日))

